

全骨盤 IMRT と 3D-IGBT を併用した子宮頸がん根治照射の研究

1. 研究の対象

2010 年 4 月以降に当院で放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

放射線治療の高精度化に伴い、周囲の正常組織を守りながら target (腫瘍) へ高線量を投与することが可能になりつつあります。子宮頸がんの根治照射は外照射と内照射を併用して行われますが、それぞれの高精度技術として IMRT、3D-IGBT があります。それら高精度技術を併用することは腫瘍への的確な放射線投与による治療成績向上、不要に放射線を投与される正常組織の体積を減らすことで有害事象の低減へとつながると報告されています。

本研究では IMRT と 3D-IGBT の併用を行った治療後のカルテデータ、放射線治療データを用いて、治療成績、有害事象と線量の関係や予後因子などを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、放射線治療計画、画像情報等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 井川 俊樹 (研究責任者)、和田 健太郎

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181